

平成28年度 福祉保健活動拠点事業報告書

施設名

港南区福祉保健活動拠点

事業計画

1 場の提供について

(1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

地域活動者や区内福祉関係者の多くを会員とし、直接活動拠点の利用がない福祉関係者とも連携を取り、本会で取り組む「身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業」により、職員個々が拠点の中にとどまらず、自身の担当地区へ出向き地域活動の支援を行うことに力を入れました。

これにより、窓口や電話での相談やボランティアニーズ、利用調整会議や本会が開催する各種会議、連絡会など活動拠点で得られる情報に加え、職員が地域に出向いて得た情報を元に本会では様々な事業の展開や関係機関への提供を行い、これまで接点の無かった団体や関係機関を繋げ、単なる交流ではなく団体同士が互いの活動を理解し、それぞれの福祉保健活動が連携するきっかけづくりの場となるような取り組みを行うことができました。

また、区民活動支援センターと連携し、支援センターに登録する活動団体と本会ボランティアセンター登録のボランティアグループ情報をまとめた「こうなんグループガイド」を共同発行することで、区内住民活動情報の発信を行っており、今後も団体や他機関との連携による取り組みを行います。

(2)拠点の利用促進に関すること

1. 活動拠点立地等のメリット再アピールと、本会の持つネットワークによるPR活動の実施

活動拠点が港南中央駅至近である点や、プロジェクター・スクリーン等の貸出設備機材が充実している点を強調し、住民向け各種講座や会議の場として利用して頂くよう、本会の会員組織や福祉関係団体へ会議等の場を通してPRしました。

2. 夜間帯実施の各種講座や事業の企画

本会が実施している地域活動人材の発掘育成事業(セカンドライフ大学校等)や、災害ボランティアネットワーク事業の講座・会合を、現在就労中の住民も参加できるよう夜間帯に実施しました。

3. 録音室の利用率向上

音声訳グループとの共催によるボランティア育成講座を開催し、その修了生にボランティアグループへ加入して頂くことで利用率の向上を図りました。

平日	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	186	225	125	65.0%	70.8%	48.6%
多目的研修室	275	327	154	87.7%	88.9%	61.3%
点字製作室	168	212	133	68.7%	73.3%	53.9%
録音室	73	128	54	30.0%	48.1%	21.8%
対面朗読室	180	233	136	73.7%	80.2%	48.1%

土日祝	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	44	61	5	36.2%	49.1%	4.3%
多目的研修室	88	106	5	75.8%	75.0%	3.4%
点字製作室	51	49	4	43.9%	41.3%	3.4%
録音室	14	16	1	12.0%	13.7%	0.8%
対面朗読室	61	61	2	52.5%	50.0%	1.7%

(3) 拠点のサービスの向上に関すること

本会職員は、横浜市社協が定めるコンプライアンス行動指針に基づき、高い倫理観をもって、住民や団体、関係機関との健全な関係を保ち、誠実かつ公正に職務を執行しました。

福祉保健活動拠点の利用の際は、予め本会の利用要件に合致している団体や活動であるか、ヒアリングや会則、パンフレット等の書類によって確認・登録を行い、登録後の拠点利用についても、福祉保健活動拠点の目的にあった利用かを確認しながら受付を行いました。

また、貸出用ロッカーやメールボックスは年度ごとの貸出（1年間）とし、年度末の利用調整会議にて次年度貸出団体の抽選を行い、決定しました。

(4) 利用調整会議等の開催

年2回、利用調整会議を行い、利用団体から拠点の管理や運営について直接ご意見を頂きながら、他の利用団体とともに意見交換し、結果を管理運営に反映しました。

開催実績	2回
参加団体数	80団体

2 ボランティア業務

(1) ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

- ・ ボランティア連絡会出席者数を増やすため、リーフレットを配布しました。
- ・ よりわかりやすい情報提供を行うため、ボランティア連絡会だより紙面を一新しました。関係機関等から内容が充実したと評価を受けています。
- ・ 地区担当者との情報交換を行い、地域のニーズ把握を担当者と共に行いました。また福祉ネットワークなどをはじめとした地域の活動者と共に情報共有・解決を行ったケースもあります。
- ・ 課題を抱えるボランティア希望者に対し、地域ケアプラザや区役所、基幹相談支援センター等と連携しながらマッチングに努めました。活動先の開拓については今後も行っていく必要があると考えます。

(2) ボランティアに関する広報、情報提供

- ・ ボランティア依頼情報をホームページや広報誌（年 4 回 1100 部発行）を活用し周知を行いました。
- ・ 身近な地域での関係構築を目指し、ボランティア依頼をきっかけとして、日頃の見守り・支えあい地域の中で重層的に行えるよう、地区担当職員、民生委員、福祉ネットワーク担当者、地域ケアプラザ職員、区役所担当ケースワーカー等と連携をしながらコーディネートを行いました。地域だけでは解決が難しい問題については地域だけにとどまらず制度や登録ボランティアを含めたコーディネートも行っています。

(3) ボランティアに関する相談、紹介

登録人数	個人	新規	86
		累計	273
	団体	新規	38 グループ 1,397 人
		累計	201 グループ 5,840 人
相談件数			226
依頼件数			113
紹介人数			222
調整数			1427

(4)ボランティアに関する育成・支援・講座開催

- ・区社協との共催ボランティア講座（計5講座）を開催しました。
入門手話講座・音声訳ボランティアフォローアップ講座・視覚障害児のための指で読む絵本作り講座・バルーンアート指導者養成講座
- ・また、ボランティア連絡会との共催講座として「救急あんしん講話」「障がい児への進路指導について」（計2講座）を行いました。
- ・移動サービス協議会・横浜市身体障害者団体連合会との共催講座として「ガイドボランティア制度説明会」（計1講座）を行いました。
- ・その他に食品衛生講習会、男のセカンドライフ大学校（区内地域ケアプラザと共催）1歳児親子学級「ありんこクラブ」（日下地域ケアプラザ）を行っています。

3 他の関連組織とのネットワーク

(1)関連組織及び地域との連携

・ボランティアセンターを通して把握した地域の課題に対する解決策を、区社協の地区担当職員や地域ケアプラザ・区役所・地域住民と共に検討しました。

(2)地域の福祉保健課題への理解と協力

・上記のように地域の福祉保健課題に対して関連組織と連携して解決していくことで、ボランティアセンターの機能強化を行いました。

4 その他

(1)職員体制、育成

常勤職員	1名
非常勤職員	6名（日中2名・夜間4名）

5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

平日・土曜（祝祭日を除く） 9：00～21：00
日・祝祭日 9：00～17：00

休館日 年末年始（12月29～1月3日）
施設点検日など

<建物・設備の保守点検、小破修繕>

【空調機器関係保守業務】

GHP 室外機点検・GHP 室内機点検・GHP 室内機フィルタ清掃・全熱交換機点検・全熱交換機フィルタ清掃

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

【給排水設備関係保守業務】

加圧給水ポンプ（ブースターポンプ点検）

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

【害虫防除業務】

害虫防除

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

【自動ドア修繕】

1階正面入口外 自動ドア劣化消耗部品交換

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

【エレベーター修繕】

非常電源用（MELD 兼用）バッテリー取替

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

【消防設備修繕】

ガス漏れ探知機（3本）・誘導灯ランプ（11本）・フードタクト用予備電池（2台）

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

<清掃業務について>

【長尺塩ビシート部】

床面除塵・洗剤塗布・ポリッシャー洗浄・汚水バキューム・モップ拭き・ワックス塗布・机拭き上げ

【タイルカーペット部】

床面除塵・洗剤塗布（ポリッシャー）・汚水バキューム・モップ拭き

【ガラス部】

洗浄水塗布・水除去（ウィンドスクイジー）・拭き取り

【トイレ部】

除塵・便器清掃・壁面清掃・拭き上げ・ごみ処理

<警備業務について>

防犯サービス・火災監視サービス・非常通報サービス

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

イ 苦情受付体制について
拠点内ご意見箱の設置、窓口満足度調査の実施（年1回） 拠点利用調整会議にて窓口満足度調査の結果を報告

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について
マニュアル整備済み 【防火管理組織】 防火管理者・防火責任者・火元責任者（事務室・福祉保健活動拠点） 【自衛消防組織】 体調・副隊長・通報連絡班・初期消火班・避難誘導班・応急援護班 災害時は周辺5施設で連携の上、館内利用者の避難にあたる。 （年2回防災訓練を実施）

エ 個人情報保護の体制及び取組について
個人情報取扱マニュアルの設置 職員会議において伝達研修実施

オ 環境への配慮及び取組について
横浜市ゴミゼロルート回収に基づく分別 エネルギー管理標準に基づく温度管理

平成28年度 福祉保健活動拠点収支決算書

施設名：港南区福祉保健活動拠点

(自)平成28年4月1日

(至)平成29年3月31日

(単位:円)

		積算内訳	金額
収入	指定管理料収入	平成28年度指定管理料	17,001,104
	その他収入		
	利用料収入	コピー機・印刷機利用者負担金	252,780
	利用料収入	なつっこ参加費収入	
	分担金収入	シルバークラブ連合会光熱費分	27,942
	古紙回収販売収入	ルート回収古紙分収入	
	法人負担分	水道光熱費分	
	収入合計(A)		17,281,826
支出	人件費	常勤職員1名・非常勤職員6名(日中2名・夜間4名)人件費	10,711,939
	事業費	ボランティア講座謝金、ニード一覧表等発送等	916,758
	管理費		
	日常管理・事務費	通信運搬費、消耗品費、コピー機等リース料、備品購入費等	1,108,942
	光熱水費(拠点分)	拠点分	1,702,207
	光熱水費(事務所分)	事務所分	300,389
	小破修繕費	設備の修繕料	362,664
	委託業務費	警備、清掃、昇降機点検等委託費等	2,053,652
	消費税		640,000
	支出合計(B)		17,796,551
	収支 (A) - (B)		(514,725)